

2022年1月25日発行

22-04号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**問題の根本**

なにか問題が起こると、その原因をさぐって、次にまた同じ問題が起こらないようにと対策を立てます。しかし、どんなに問題を解決しても、次々を問題が起こるのが現実です。どうしたら良いのでしょうか。『上流思考──「問題が起こる前」に解決する新しい問題解決の思考法』（ダン・ヒース著、ダイヤモンド社出版)という本が発行されたという記事がありました。私たちは、上流で「ちょっと変えればいいだけ」のことをしていないために、毎日、下流で膨大な「ムダ作業」をくりかえしている。このような不毛な状況から抜け出すにはどうすればいいのかということを、本から紹介してありました。

頭のいい人は「問題の上流」にさかのぼるということです。例をあげてありました。毎日目薬を朝と夜にさす必要があるのに忘れがちの人が、毎日必ず台所に立つので、朝は必ずコーヒーを入れるときに見える窓の東側に目薬を置いておき、朝が終わったら、その窓の西側に目薬を置くことによって、必ず目につくから忘れず、また、朝か夜か見分けることもできるようになったということです。また、玄関の電気をいつも消し忘れることで、夫婦げんかが絶えなかった人が、その電気を5分経てば消えるタイマー付きのスイッチにしたら、消し忘れることが問題にならなくなり、けんかをする必要がなくなったということです。そして、パソコンを持ち歩くために、電源コードを抜いて持って行くのがとてもいやだった人が、電源コードの2つ目を買い、家のコードは抜くことなく置きっぱなしにして、もうひとつはいつもカバンに入れておいて、出先ではもうひとつの電源コードを使うようにしたということなどです。必要なのは問題に気づいて、小さな計画を立てることだけだと、本には書いてあるということです。(1月21日DIAMONDonline＜「頭のいい人、悪い人の考え方」決定的な1つの違い＞より)

目の前に展開している問題が起こるのは、普段気づかない構造的欠陥があるからなので、それに気づいて、そうなる原因を把握して、その原因自体を変えると、目の前の問題は解決しているということでしょう。そのことを考えられる人を頭のいい人間だと表現しているということです。「目の前の現象ばかり見るな、根本原因に対処せよ──」ということを本の紹介で書かれています。

たしかに、ひとつ工夫するだけで、めんどうな問題は起こらないということで、生活のヒントなど多くの人が知恵を教えてくれます。しかし、目の前の一つの問題がなくなったとしても、次々となにかが起こるのが人生です。いっそのこと、人生の問題の根本的な部分からひっくり返して、変えてしまうべきではないでしょうか。それをしたくて、問題の上流にさかのぼって、さかのぼって、徹底的に問題の根本にある部分を見つけようとしても、「普段気づかないこと」なので、自分では分からないのです。その根本について、いっしょに考えてみませんか。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください